

# 面的評価支援システム

操作マニュアル（別冊）

国土地理院  
数値地図 25000（空間データ基盤）  
を用いた評価編

Ver 4.0.0

平成 28 年 3 月



環境省水・大気環境局自動車環境対策課

## はじめに

「面的評価支援システム操作マニュアル（別冊）国土地理院 数値地図 25000（空間データ基盤）を用いた評価編」は、「国土地理院 数値地図 25000（空間データ基盤）」を評価地図として活用し面的評価を行う場合の「面的評価支援システム」（以下システムという）における要素設定について記述したマニュアルです。

## 目次

I	要素設定（沿道設定） .....	5
1	概 要.....	6
2	要素設定.....	7
3	建物設定.....	8
3-1	オブジェクト作成.....	8
3-2	情報入力.....	9
3-3	データ編集.....	10



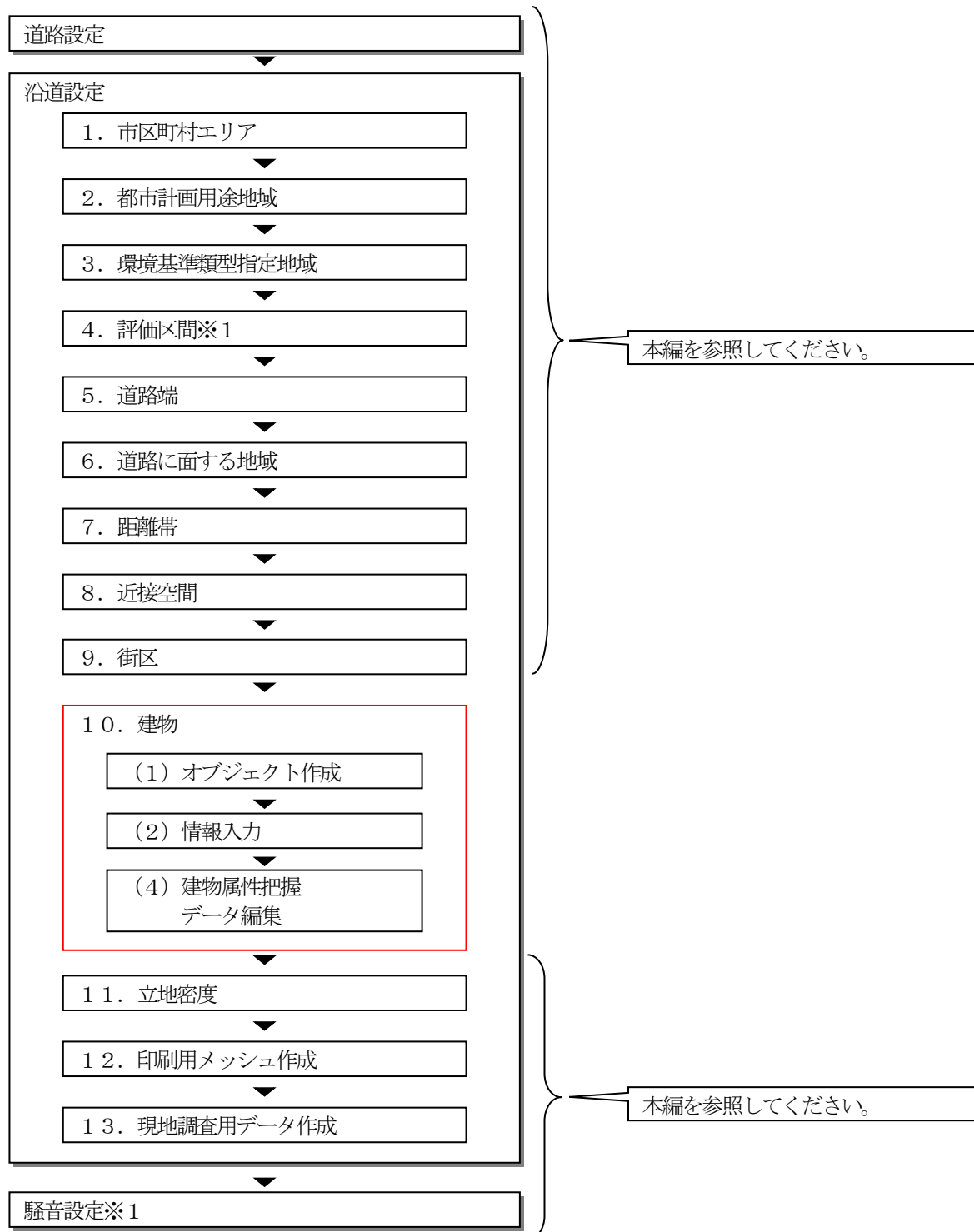
## I 要素設定（沿道設定）

---

# 1 概 要

「国土地理院 数値地図 25000（空間データ基盤）」を評価地図として活用し面的評価を行う場合、「国土地理院 数値地図 25000（空間データ基盤）」には道路や沿道等の情報が無いため、資料（住宅地図等）を参考に要素設定を行います。要素設定の設定手順及び建物設定手順について説明します。

## ■ 全体の作業フロー



※1 住所情報の自動取得は住所情報がないため出来ないなので、手動入力してください。

## 2 要素設定

要素設定の設定方法を以下に示します。また、建物においては本編と設定方法が異なるため、[3. 建物設定]を参照してください。

表 2-1 要素設定の設定方法

－：本編参照

○：[3 建物設定] 参照

メニュー	項目	設定内容	作業手順	備考
道路設定	1. 道路平面線形要素 *1	評価対象道路の設定をします。	－	
	2. 標準断面 *2	評価対象道路の代表とする断面の設定をします。	－	
	3. 道路交通センサス区間 *3	評価対象道路の道路交通センサス区間の設定をします。	－	
沿道設定	1. 市区町村エリア *1	評価対象道路のある地域の設定をします。	－	
	2. 都市計画用途地域 *1	資料より各地域の設定をします。	－	
	3. 環境基準類型指定地域 *1	資料又は自動作成機能を使用し各地域の設定をします。	－	
	4. 評価区間	道路条件等による評価区間の設定をします。	－	起点・終点の住所情報は、手動で入力します。
	5. 道路端 *1	評価区間の道路敷地境界の設定をします。	－	
	6. 道路に面する地域	評価区間に対する道路に面する地域の設定をします。	－	初期設定において面する地域の幅を設定します。
	7. 距離帯	処理用、表示用の設定をします。	－	表示用の距離帯の幅は初期設定で設定します。
	8. 近接空間	車線数情報から近接空間の設定をします。	－	
	9. 街区 *1	建物の立地密度が同一となる街区の設定をします。	－	建物の立地状況に合わせて街区を設定します。
	10. 建物 *1	評価対象となる建物の設定をします。	○	建物情報がないため資料（住宅地図など）を参考にしながら設定します。
	11. 立地密度	街区ごとの建物立地密度計算をします。 (システムで自動処理)	－	
	12. 印刷用メッシュ作成	印刷用のメッシュ作成をします。 (システムで自動作成)	－	
	13. 現地調査用データ作成	設定したデータより建物の現地調査用データ作成をします。	－	
騒音設定	1. 騒音測定地点	騒音測定した箇所に地点オブジェクト作成をします。	－	
	2. 騒音測定データ	作成した地点オブジェクトの騒音データ入力をします。	－	測定地点の住所情報は、手動で入力します。

\*1 住宅地図等を参考に入力します

\*2 騒音測定時に調査した道路横断面に基づいて設定します。

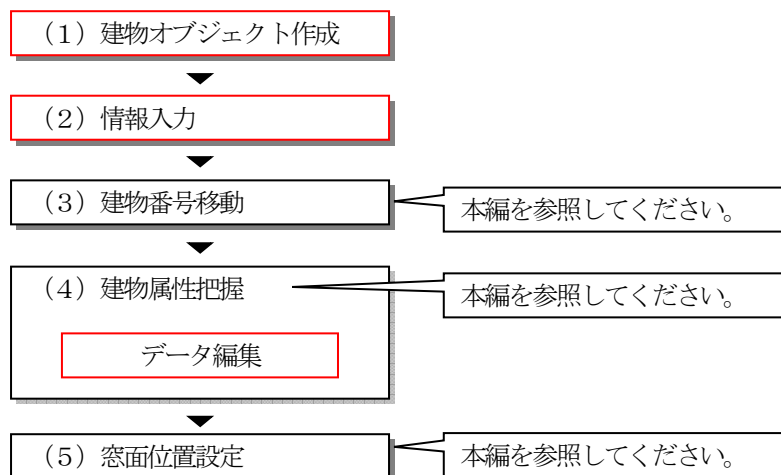
\*3 道路交通量センサス附図（交通流量図）を参考に設定します。

### 3 建物設定

建物情報が無いためオブジェクトの自動作成機能が使用できません。

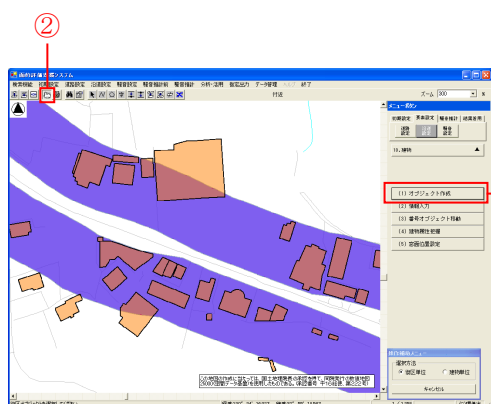
建物のオブジェクトを手動で作成し、作成したオブジェクトに資料を参照しながら建物用途情報等を入力します。また、データ編集にて戸数・階数等の詳細なデータを入力します。

#### ■作業フロー



#### 3-1 オブジェクト作成

住宅地図等を参考に、該当箇所にオブジェクトを手動で作成します。



**Menu** [沿道設定] - [10.建物] - [(1) オブジェクト作成]

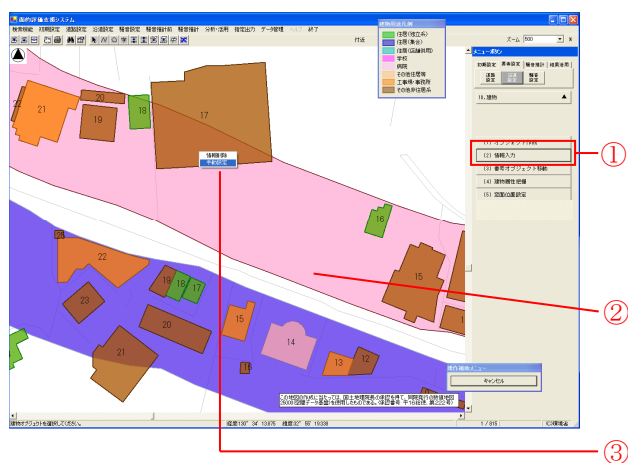
- ① [(1) オブジェクト作成]をクリックします。
- ② 多角形ツールを選択します。
- ③ 住宅地図等の情報をもとに建物オブジェクトを作成します。



## 3-2 情報入力

住宅地図等を参考し、作成したオブジェクトに用途等の情報を入力します。

**Menu** [沿道設定] - [10.建物] - [(2) 情報入力]



- ① **[(2) 情報入力]**を選択します。
- ② 街区オブジェクトをクリックします。  
→ 街区が中抜き表示になります。
- ③ 起点側から入力します。建物オブジェクトの上で右クリックし手動設定を選択します。  
→ 建物情報入力画面が表示されます。

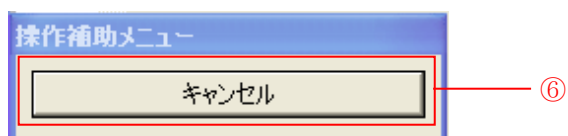
建物情報入力画面

- ④ 建物用途、建物構造を入力します。

### 備考

1 階あたりの建物高さについては【初期設定】の「13. 建物階数高さ」で設定した値が入力されています。

- ⑤ **登録**をクリックします。  
→ 建物番号が表示されオブジェクトの表示色が変わります。



- ⑥ 1つの街区を終えたら【操作補助メニュー】の**キャンセル**をクリックします。  
→ 街区の選択が解除されます。
- ⑦ 次の街区に移動し、②～⑤を繰り返します。

### 3-3 データ編集

建物属性把握後、[路線別建物状況整理表 修正] 画面で戸数・階数等の情報を入力します。  
[路線別建物状況整理表 修正] 画面の主な入力箇所内容及び入力フォームを下表に説明します。

表 3-3-1 データ編集

項 目	概 要	内 容	入力フォーム
①建物用途	建物用途を入力又は変更します。	住居（集合）以外に変更する場合はここで番号を変更します。 住居（集合）に変更する場合は、正しく距離帯情報を取得するため建物【情報入力】より入力し直します。	1：住居（独立系） 2：住居（集合） 3：住居（店舗併用） 4：学校 5：病院 6：その他住居等 7：工事場・事務所 8：その他非住居
②更新フラグ	修正したデータに対してチェックが入ります。	更新フラグの入った建物情報は再度属性把握処理を実行しても戸数・階数等の情報は変更されないよう設定されています。	チェック
③集合フラグ	①建物用途を修正した場合にフラグを修正します。	—	1：住居（集合） 0：住居（集合）以外
④建物構造	建物構造を入力又は変更します。	建物構造のデータが無い場合は初期設定の背後値推計式で設定したデフォルト値が入力されています。	1：コンクリート造 2：その他 9：未調査
⑤建物面積	自動で面積を取得しています。	—	整数
⑥地上階数	建物の階数を入力又は変更します。	—	整数
⑦住居等戸数	住居等戸数を入力又は変更します。	建物が道路に面する地域（50m）から出る場合は面積比率を計算し入力します。 面積比率計算式 評価区間内面積÷⑤建物面積×住居総戸数＝住居等戸数（四捨五入）	整数
⑧距離帯別配分	⑦住居等戸数を距離帯ごとに均等配分します。	—	—
⑨距離帯	建物に架かる距離帯にチェックが表示されます。	住居（集合）以外の建物は最前列の距離帯にチェックが入ります。	チェック
⑩距離帯別情報一覧	⑧で配分された戸数が反映されます。	配分された戸数を調整・確認します。（手動変更可能）	整数
⑪階数別配分	⑧距離帯別配分で配分された戸数を階数ごとに均等配分します。	配分できる階数は⑥地上階数で入力した階数です。	整数
⑫階数別情報一覧	⑪で配分された戸数が反映されます。	配分された戸数を調整・確認します。（手動変更可能）	整数

## [路線別建物状況整理表 修正] 画面

路線別建物状況整理表 修正

Key項目  
市町村コード 年度 評価区間番号 街区番号 上下コード 建物番号

町丁目コード 建物立地密度 27.5 建物用途 2 地域類型 4 更新フラグ 0~10m 10~20 20~30 30~40 40~50

集合住宅 1 建物構造 1 既存の防音助成等 建物面積 228.7 苦情情報 9 住居等戸数 9 住居総戸数 12 配分

建物名称 地上階数 3 用途地域 10 評価区間内面積 229

距離帯別 階数別 1~5

		0~10m	10~20m	20~30m	30~40m	40~50m
近接空間判定コード						
近接空間住居等戸数		0	0	0	0	0
非近接空間住居等戸数		0	0	9	0	0
騒音レベル	昼間LAeq16	0.0	71.5	69.8	0.0	0.0
	夜間LAeq8	0.0	68.5	66.8	0.0	0.0
交差道路1	評価区間番号					
	上下コード					
	街区番号					
	建物番号					
交差道路2	評価区間番号					
	上下コード					
	街区番号					
	建物番号					
修正履歴						
騒音レベル評価区分1						
騒音レベル評価区分1結果						
騒音レベル評価区分2			2	2		
騒音レベル合	昼間LAeq16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夜間LAeq8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

登録 閉じる

距離帯別タグ表示画面

路線別建物状況整理表 修正

Key項目  
市町村コード 年度 評価区間番号 街区番号 上下コード 建物番号

町丁目コード 建物立地密度 27.5 建物用途 2 地域類型 4 更新フラグ 0~10m 10~20 20~30 30~40 40~50

集合住宅 1 建物構造 1 既存の防音助成等 建物面積 228.7 苦情情報 9 住居等戸数 9 住居総戸数 12 配分

建物名称 地上階数 3 用途地域 10 評価区間内面積 229

距離帯別 階数別 1~5

		0~10m		10~20m		20~30m		30~40m		40~50m	
		昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜	昼	夜
1F	戸数 3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル	0.0	0.0	71.5	68.5	69.8	66.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル 合成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2F	戸数 3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル	0.0	0.0	71.4	68.4	69.8	66.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル 合成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3F	戸数 3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル	0.0	0.0	71.3	68.3	69.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル 合成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4F	戸数 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル 合成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5F	戸数 0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	騒音レベル 合成	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
戸数 計		0	0	0	9	0	0	0	0	0	0

登録 閉じる

階数別タグ表示画面

## ■入力手順

道路線別建物状況整理表 修正

Key項目  
市町村コード 評価区画番号 上下コード 建物番号

町丁目コード 1 建物立地密度 27.5 建物用途 2 地域類型 4 工業用フラグ 0  
集合住宅 1 建物構造 1 既存の防音施設等 229.7 寄附価値 8  
地上階数 3 用途地域 10 評価区画内面積 229 住居総戸数 12 配分

建物名称 10011111 距離帯別 1～5

	0～10m	10～20m	20～30m	30～40m	40～50m
近接空間利用コード	0	0	0	0	0
近接空間利用戸数	0	0	0	0	0
近接空間利用面積	0	0	0	0	0
階数レベル	0.0	71.5	66.6	0.0	0.0
階数レベル合計	0.0	66.6	66.6	0.0	0.0
評価区画番号					
上下コード					
評価区画番号					
建物番号					
用途地域					
評価区画番号					
上下コード					
評価区画番号					
建物番号					
用途地域					
修正履歴					
階数レベル評価区分1					
階数レベル評価区分2					
階数レベル評価区分3					
階数レベル評価区分4					
階数レベル評価区分5					
階数レベル合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
階数レベル合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

登録 印刷

Menu [沿道設定] - [10.建物] - [(4) 建物属性把握]

① 建物オブジェクト上にカーソルを置き、右クリックでショートカットメニューを表示し、[データ編集]を選択します。

→ [路線別建物状況整理表修正]画面が表示されます。

② 階数・戸数情報等の不足している情報を入力します。

### 備考

建物戸数不明時のデフォルトは以下の通りです。

住居系 : 1

非住居系 : 0

③ 配分をクリックします。

④ [階数別 1～5] のタブをクリックします。

→ 表示が切り替わります。

⑤ 配分をクリックします。

→ 階数別情報一覧に配分されます。

⑥ 階数別情報一覧にて配分を確認します。

⑦ 同様に [距離帯別] のタブをクリックして切り替え、配分を確認します。

⑧ 登録をクリックします。

道路線別建物状況整理表 修正

Key項目  
市町村コード 評価区画番号 上下コード 建物番号

町丁目コード 1 建物立地密度 27.5 建物用途 2 地域類型 4 工業用フラグ 0  
集合住宅 1 建物構造 1 既存の防音施設等 229.7 寄附価値 8  
地上階数 3 用途地域 10 評価区画内面積 229 住居総戸数 12 配分

建物名称 10011111 距離帯別 1～5

	0～10m	10～20m	20～30m	30～40m	40～50m
近接空間利用コード	0	0	0	0	0
近接空間利用戸数	0	0	0	0	0
近接空間利用面積	0	0	0	0	0
階数レベル	0.0	71.5	66.6	0.0	0.0
階数レベル合計	0.0	66.6	66.6	0.0	0.0
評価区画番号					
上下コード					
評価区画番号					
建物番号					
用途地域					
評価区画番号					
上下コード					
評価区画番号					
建物番号					
用途地域					
修正履歴					
階数レベル評価区分1					
階数レベル評価区分2					
階数レベル評価区分3					
階数レベル評価区分4					
階数レベル評価区分5					
階数レベル合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
階数レベル合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

登録 印刷